



平成 20 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 新日鉱ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高 萩 光 紀
 コード番号 5 0 1 6 東証一部・大証一部・名証一部
 問合せ先 取締役 総務グループ総務担当 八 牧 暢 行
 電 話 0 3 - 5 5 7 3 - 5 1 2 9

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 4 月 30 日に発表した平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(中間期)の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 4 月 30 日発表)	2,145,000	27,000	51,000	26,000	28 円 05 銭
今回修正予想(B)	2,340,000	66,000	100,000	54,000	58 円 26 銭
増減額(B-A)	(○)195,000	(○)39,000	(○)49,000	(○)28,000	—
増減率	9.1%	144.4%	96.1%	107.7%	—
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期 中間期)	2,010,629	50,345	95,707	51,011	55 円 04 銭

<修正の理由>

売上高は、原油情勢を反映した石油製品価格および金属価格の上昇を主因として増収となる見込みであります。経常利益は、原油価格上昇による在庫評価益の発生、銅価上昇に伴う増益等を主因として、490 億円増の 1,000 億円となる見込みであります。また、当期純利益は、経常利益の増益等により、280 億円増の 540 億円となる見込みであります。

<セグメント別経常利益内訳(平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想)>

(単位:億円)

		前回発表	今回発表	差異	経常利益差異説明	19/上実績
石 油 グ ル ー プ	売 上 高	15,900	17,700	(○)1,800	在庫評価益の発生等により増益	14,349
	経常利益	75	450	(○)375		321
金 属 グ ル ー プ	売 上 高	5,350	5,450	(○)100	銅価上昇・為替円安等により増益	5,652
	経常利益	380	500	(○)120		593
独 立 機 能 グ ル ー プ	売 上 高	400	440	(○)40		326
	経常利益	55	50	(X)5		44
消 去	売 上 高	△200	△190	(○)10		△221
計	売 上 高	21,450	23,400	(○)1,950		20,106
	経常利益	510	1,000	(○)490		957

2. 平成 21 年 3 月期 通期連結業績予想について

通期の業績予想については、原油価格、金属価格、為替相場の動向などが先行き不透明であるため、今回は修正せずに据え置き、第 2 四半期の決算発表時に修正する予定です。

【参考】 20/上期 前提条件

		前回発表	今回発表	差異	19/上実績
共通	為替レート(円/\$)	100	105	(+)5	119
	石油グループ				
	原油FOB(\$/BBL) <ドバイスポットベース>	93.0	121.0	(+)28	67.4
	パラキシレン市況(\$/t) <ACP(実勢)ベース>	1,301	1,444	(+)143	1,141
金属グループ	銅価(¢/lb)	350	367	(+)17	348
	電気銅販売量(千t/期)	322	315	(-)7	326
	環境リサイクル金回収量 (t/期)	3.7	3.2	(-)0.5	3.4
	圧延銅箔販売量 (千m/月)	4,166	3,520	(-)646	3,959
	精密圧延品販売量 (千t/期)	24.1	22.7	(-)1.4	21.7

(注)7-9月前提条件:為替レート(105円/\$)、原油FOB(125\$/BBL)、銅価(350¢/lb)

(注)上記の業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績等は、様々な要因により予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上